



## はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルドシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には、かならず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。

## 取扱説明書 保証書付

年少者用補助乗車装置 Group 0, I

商品名 **ソシ工** (角度インジケータ無し)

型式: LYF-375

### 注意

- 本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
- 車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
- 本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された3点式 / 巻取り装置なし / 巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合にのみ適しています。
- 本年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
- 疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。
- この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、かならず守ってください。

**△警告** 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

**△注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

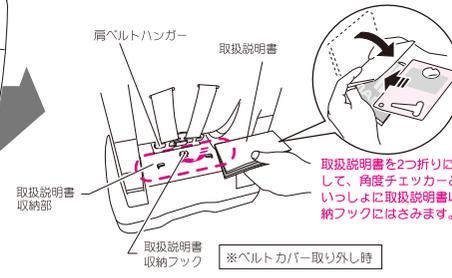
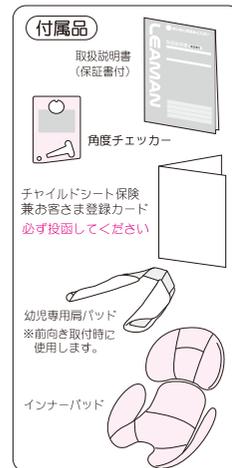
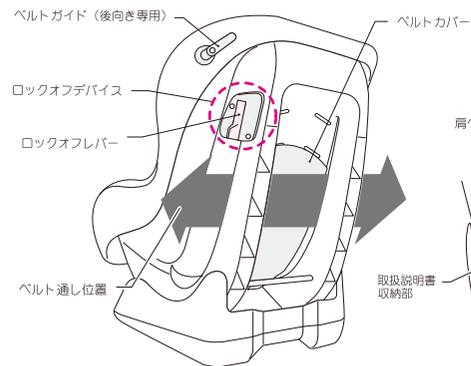
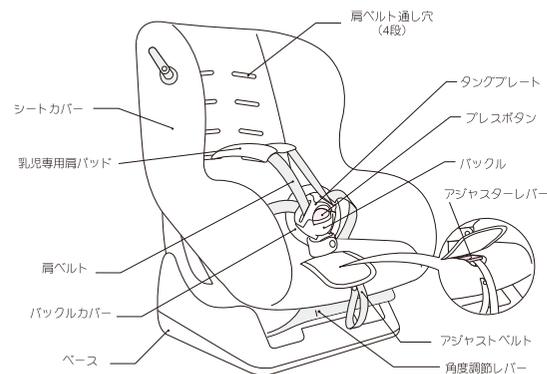
**×** **○** 図示されている内容の禁止を示しています。

**Check** 安全のため、かならず確認していただきたいこと。

**Ⓛ** **アドバイス** より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

- この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し(本体ベース背面の収納フック)、必要に応じてお読みください。

## 1. 各部の名称



Sosie

ECE R44/04  
UNIVERSAL  
0-18kg Y

E8

045981  
LEAMAN

## 2. お子さまの適用条件

△警告 お子さまの体重が10kgを超えるまで、前向きで使用しないでください。

△警告 前部座席での後向き使用の際、運転のさまたげになる場合は、ご使用をおやめください。

体 重	7 kg未満	7 kg～10 kg未満	10 kg～18 kg以下
身長のためやす 年齢のためやす	65 cmまで 新生児～6ヶ月頃まで	65 cm～75 cmまで 6ヶ月頃～12ヶ月頃まで	75 cm～100 cmまで 12ヶ月頃～4才頃まで
取付方向	後向き		前向き
取付具	インナーパッド		
	肩パッド		
その他		ひとり座りができ、首がしつかりすわっていること。	お子さまを座らせるとき、後頭部が背もたれの上から出ないこと。

△警告 新生児から6ヶ月頃まではお子さまの負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

ⓘ アドバイス チャイルドシートは前・後部座席に取り付け可能ですが、安全性がより高い後部座席への取り付けをおすすめします。

## 3. 取り付けできない座席

△警告 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

シートベルトの付いていない座席 	2点式シートベルトの座席 	エアバッグが装備されている座席での後向き使用 
座席の奥行きが43cm以下の座席 	シートベルトのバックル部が座席の中央からでている座席 	車両バックルの位置が高く、チャイルドシートを固定できない座席 

- 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。
- パッシブシートベルト（前部座席に座るとドアの開閉によって、自動的に装着・脱着されるタイプのシートベルト）のついた座席。
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
- 極端なバケットタイプなどの座席。（取り付けたチャイルドシートが安定しません）
- チャイルドシートを取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万 one のとき乗員の安全が確保できません）
- その他、チャイルドシートを固定できない座席。

## 4. 取付可能な車両シートベルト

本装置は車両が3点式／巻取装置なし／巻取装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。

●車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。チャイルドシートを正しく安全に使用するために、**お客さまの車両（シートベルト）に合った取り付け方法で装着してください。**

●車両シートベルトの種類 (○：取り付け可能 ×：取り付け不可)

3点式	巻取装置有り						パッシブ	巻取装置無し
	ELR付		ALR付		NLR付			
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
○	×	○	○	○	○	×	○	

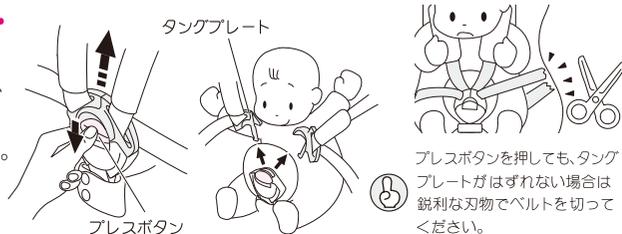
	特 長	本装置の取り付け注意点	取付可能
ELR・ALR付 3点式シートベルト (チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取装置)	通常はELRベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出すとALR機能に切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしまるシートベルトです。また、ベルト全量戻したときにはELR機能に戻ります。	チャイルドシートをロックオフレバーでしっかりと固定してから、 <b>シートベルトを全部引き出し、ALR機能に切り換えてください。</b> <b>△注意</b> 取り付けの際は、装着車両の取扱説明書も確かめください。	○
ALR付 3点式シートベルト (自動ロック式 ベルト巻取装置)	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	チャイルドシートを固定するのに <b>必要なだけの長さを一気に引き出してから</b> 、チャイルドシートを <b>ロックオフレバーでしっかりと固定してください。</b>	○
ELR付 3点式シートベルト (緊急ロック式 ベルト巻取装置)	通常は、ベルトが自由に入り出し、衝撃(急ブレーキなど)を感じたときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトを <b>ロックオフレバーでしっかりと固定</b> してください。	○
NLR付 3点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けにあわせシートベルトの長さを調節し固定します。	○
パッシブ シートベルト	前部座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	<b>チャイルドシートを固定することができません。</b>	×
その他の シートベルト	表記載されていないものすべて。	<b>チャイルドシートを固定することができません。</b>	×

△警告 2点式シートベルトには取り付けできません

# 5. 必ずお読みください

## 緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



プレスボタンを押しても、タンクプレートがはずれない場合は鋭利な刃物でベルトを切ってください。

## 警告

\* 記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。



チャイルドシートは取扱説明書どおりに固定してください。



車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



エアバッグの装備されている座席には後向き使用しないでください。



腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。



チャイルドシートのバックルははずしたままでの使用は危険ですので絶対におやめください。



お子さまの不定定な行動により、ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。



保護者が各部分に触れて、やけどしないことを確認の上、お子さまを乗せてください。



お子さまを車内にひとりで放置することはおやめください。



お子さまが、バックルのプレスボタンを押さないように注意してください。ときどきタンクプレートがバックルからはずれていないことを確認してください。



衝突事故や製品を落下させるなど一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外觀に破損がなくても絶対に使用しないでください。



お子さまが乗っていない場合、チャイルドシートはトランクに収納しておくが、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。



運転中にチャイルドシートの操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。



チャイルドシートを助手席に取り付けるとき、チャイルドシートとシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合には助手席でのご使用をやめ、後部座席でご使用ください。



チャイルドシートを改造したり、カバー類・ウレタンなどは取りはずして使用しないでください。



後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けしないでください。



新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、目をはなさないでください。また、お子さまの負担を考え1時間以上連続して使用しないでください。

## 注意

\* 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。



お子様を乗せる際には、チャイルドシートの取り付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。(確認は停車し、安全な状態で行ってください)



車両シートベルト及びチャイルドシートのベルトを鋭利なもので傷つけないようにご注意ください。



チャイルドシートにお子さまを乗せたまま車両への取り付け・取りはずしはおやめください。



チャイルドシートは車両以外のご使用をおやめください。



お子さまがチャイルドシートの上で立ち上がりたり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。



衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。



チャイルドシートを取り付ける際は、取り付ける車両のマニュアルを併せてお読みください。



可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）が挟まれないようにチャイルドシートを取り付けてください。



アドバイス \*より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。



後向き使用のときは運転席の後部座席へ取り付けたと肩ベルトが邪魔になりません。(右ハンドルで助手席側からの乗せ降ろし時)  
\*車道側からの乗せ降ろしは危険ですので、歩道側から行ってください。



車両シートの材質、形状により、キズや跡がつく場合がありますのでご注意ください。チャイルドシートと車両シートが接する面にはタオルなどをあてて、ご使用ください。

# 6. お手入れの仕方

## 洗濯方法

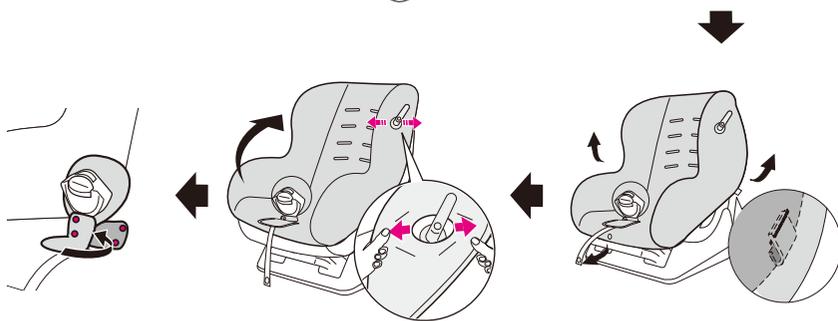
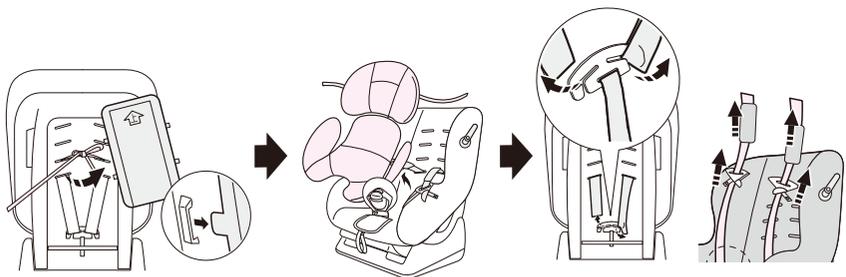
- 肩パッド・シートカバー・バックルカバー・インナーパッドカバーは、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 脱水はさけ、タオルなどで押し絞りし、風通しのよい日かげに干してください。



## 日常のお手入れ方法

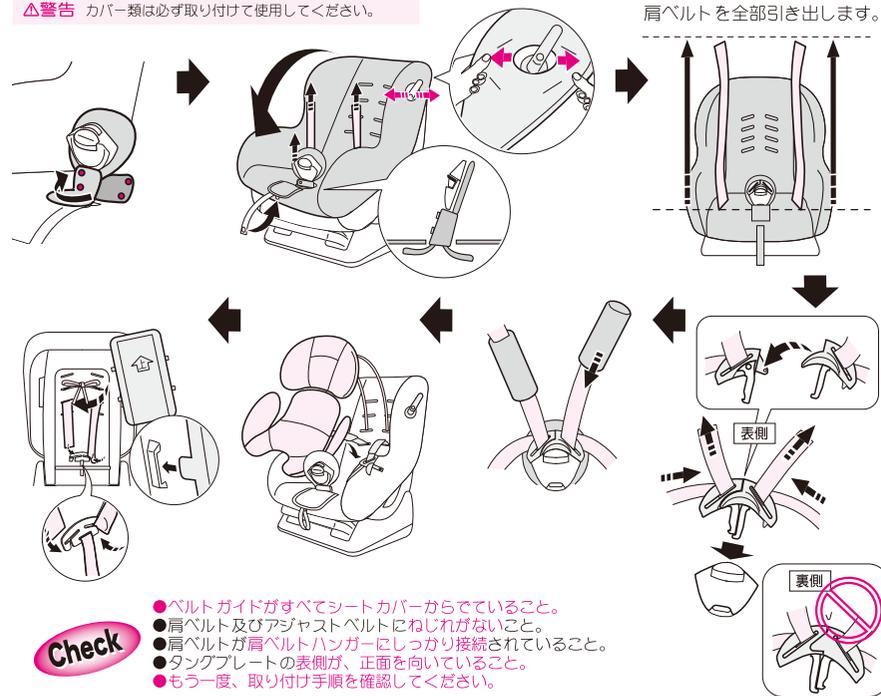
- 樹脂部は水または、から拭きしてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

## シートカバーの取りはずし方



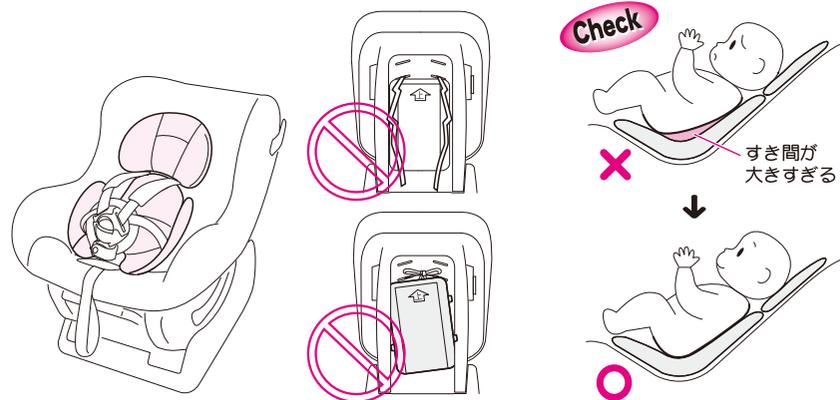
## シートカバーの取り付け方

- △警告 専用カバー以外は使用しないでください。
- △警告 カバー類は必ず取り付けて使用してください。



## 7. インナーパッドの使い方

年齢のめやす：  
新生児～6ヶ月頃



# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの

体重：

10kg未満

身長をめやす：

75cmまで

年齢をめやす：

新生児～12ヶ月頃



## 後向き取付け



Check

### 取付具

体重：7kg未満

身長：65cmまで



体重：7～10kg未満

身長：65～75cmまで



## 1 お子さまの座らせ方

△警告 お子さまの着座のたびに、かならずアジャスターベルトを引きお子さまを拘束してください。

△警告 バックル部分は、常に清潔にしておいてください。異物が詰まるなどするとタングを確実にロックできなくなります。

△警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。

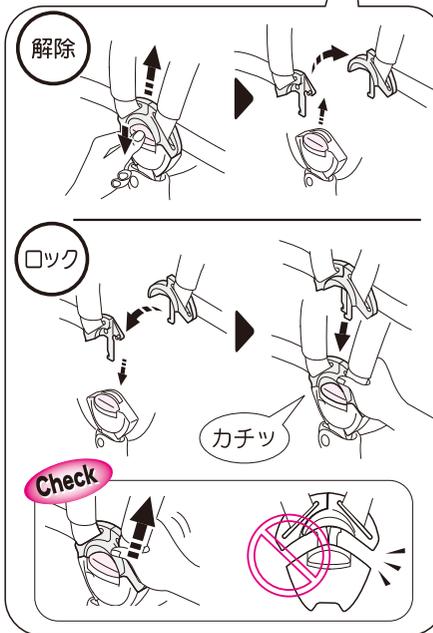


アジャスターレバー

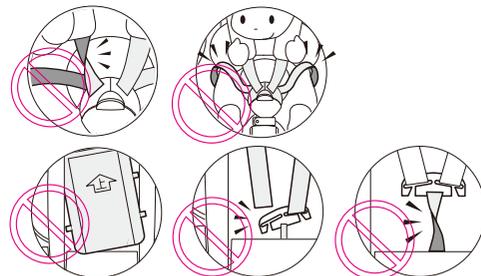
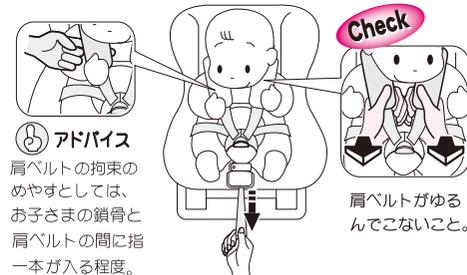
2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナーパッドにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。



3 バックルとタングプレートをロックします。



4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取ります。



# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの  
体重：  
10kg未満



身長をめやす：  
75cmまで

年齢をめやす：  
新生児～12ヶ月頃

## 後向き取付け



Check

### 取付具

体重：7kg未満  
身長：65cmまで



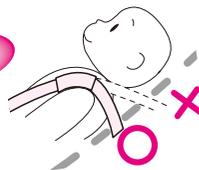
体重：7～10kg未満  
身長：65～75cmまで



## 2 肩ベルト高さ調節

お子さまを座らせ肩ベルト高さを決めます

Check 1



△警告  
肩ベルトの高さはお子さまの肩と  
同じ高さか、やや低めの肩ベルト  
通し穴を使用してください。

注) 新生児～6ヶ月頃はインナー  
パッド使用で確認します。

△注意 かならず肩ベルトを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。  
△注意 肩ベルトおよび、アジャスタレバーはねじれないように、肩ベルトハンガーに  
取り付けてください。

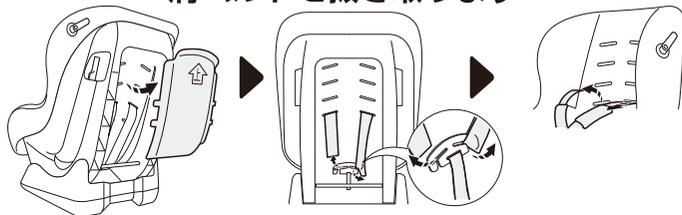
肩ベルト高さが合っていれば 3 へお進みください

注) 工場出荷時には肩ベルト高さは最下位にセットしてあります。

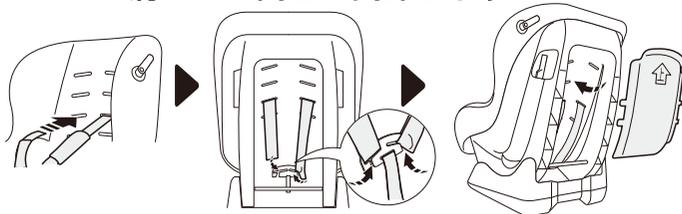
肩ベルトの高さが合わなければ調節してください

アジャスタレバーを引き上げたまま、肩ベルトを手前に引けなく  
なるまで引き出します。(左図 1 お子さまの座らせ方 1 参照。)

肩ベルトを抜き取ります



肩ベルト高さを調節します



△警告 ベルトカバーはかならず取り付けてご使用ください。

## 3 取付角度調節

一番倒れた状態に  
します

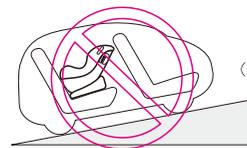


安全・快適角度

45°

●作業スペース確保  
のため、車両前部座  
席を前にスライド  
させてください。

Check 2 接するように



(車が水平な状態で行ってください)

アドバイス

※セーフティーゾーンに入ら  
ないときはクッションなど  
本体の下に入れて調節して  
ください



# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの

体重：

**10kg未満**



身長のためやす：

**75cmまで**

年齢のためやす：

**新生児～12ヶ月頃**

## 後向き取付け



Check

### 取付具

体重：7kg未満

身長：65cmまで



体重：7～10kg未満

身長：65～75cmまで



## 4

## 後向き 取付手順

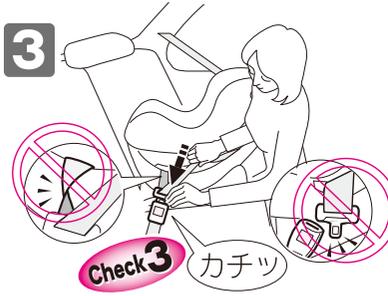
1



2



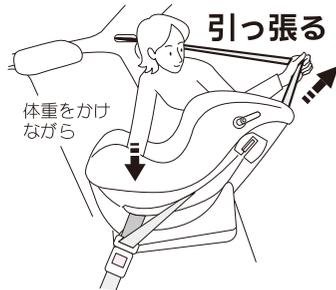
3



4



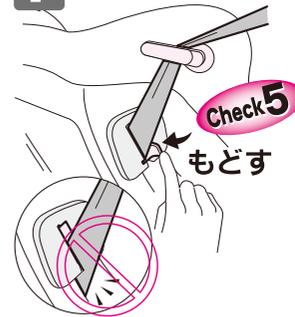
5



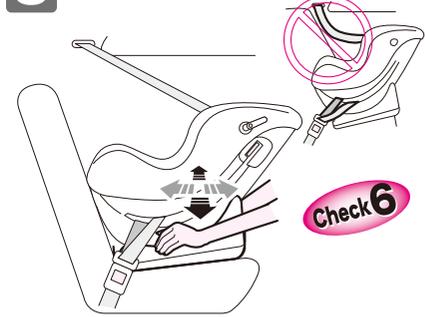
6



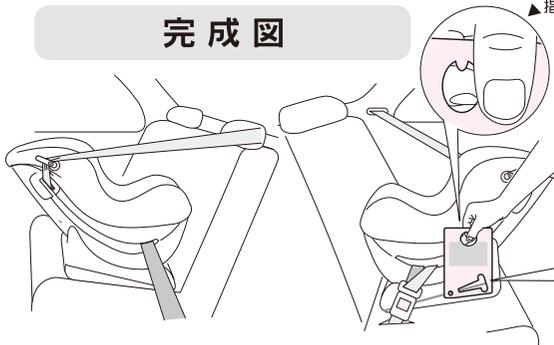
7



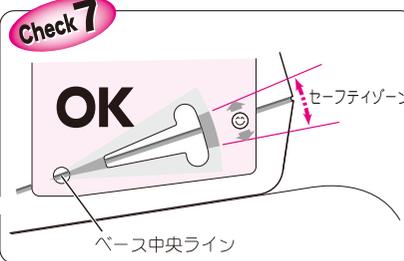
8



## 完成図



▲指先（人差し指）を穴（○）に通し、やじろべえの要領（自然にふらさげた状態）で確認します。



Check 1～7 はかならずおこなってください。



以上の項目をチェック後

●ぐらつきチェックで、ベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつく場合はもう一度取付手順の1～8の順序で、取り付けをやり直してください。

# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの  
体重：  
10~18kg 以下

身長のため：  
75~100cm まで

年齢のため：  
12ヶ月頃~4才頃

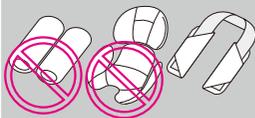
## 前向き取付け



△警告  
お子さまの体重が10kgを  
超えるまでは、前向きで  
使用しないでください。

Check

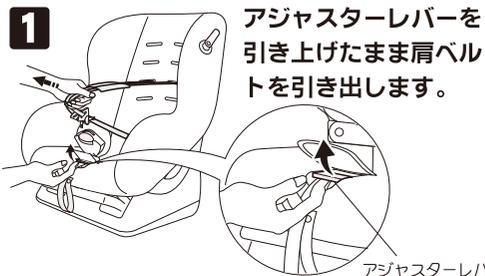
## 取付具



△警告  
かならず幼児専用肩パッド  
を使用してください。

# 1 お子さまの座らせ方

- △警告 お子さまの着座のたびに、かならずアジャストベルトを引きお子さまを拘束してください。
- △警告 バックル部分は、常に清潔にしておいてください。異物が詰まるなどするとタングを確実にロックできなくなります。
- △警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。



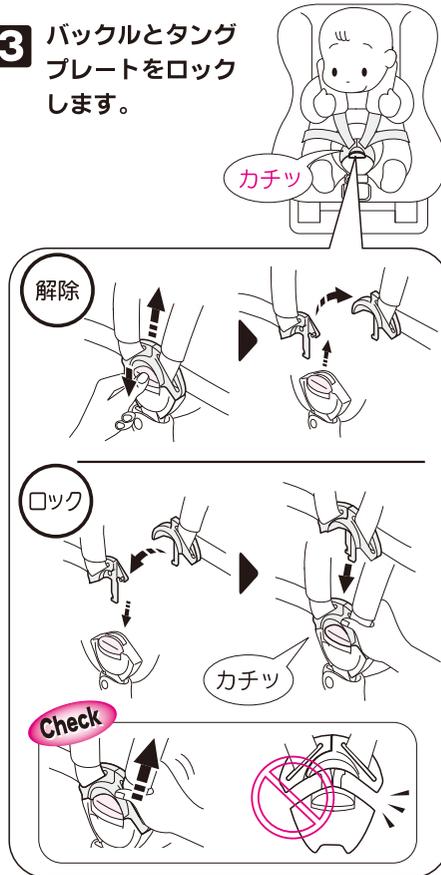
アジャスターレバー

2 お子さまを、チャイルドシートの座面及びインナーパッドにあわせて深く座らせ、肩ベルトに左右の腕を通します。

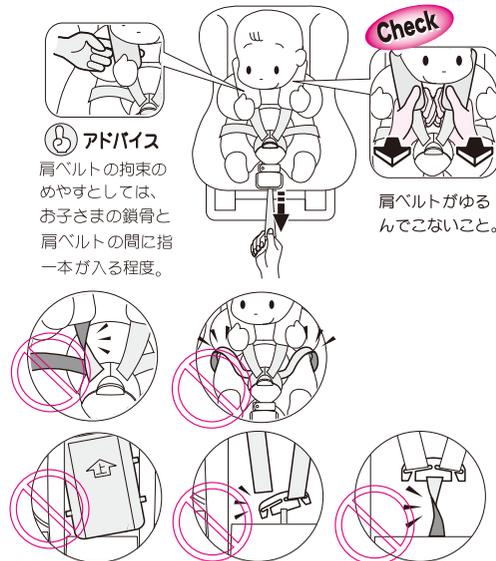


注) インナーパッドは7kg未満で使用

3 バックルとタングプレートをロックします。



4 アジャストベルトを引き、肩ベルト、腰ベルトのゆるみたるみを取り除きます。



# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの  
体重：  
10~18kg 以下

身長のため：  
75~100cm まで

年齢のため：  
12ヶ月頃~4才頃

## 前向き取付け



△警告  
お子さまの体重が10kgを  
超えるまでは、前向きで  
使用しないでください。

## Check 取付具



△警告  
かならず幼児専用肩パッド  
を使用してください。

## 2 幼児専用肩パッドへの交換

お子さまを座らせ肩ベルト高さを決めます



Check 1



△警告

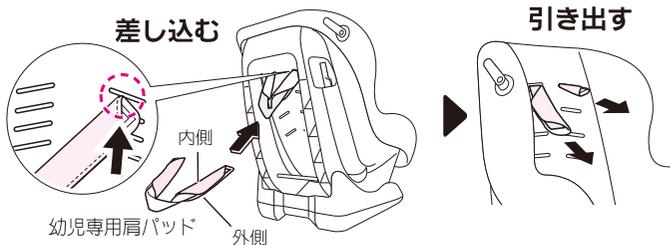
肩ベルトの高さはお子さまの肩と  
同じ高さか、やや高めの子肩ベルト  
通し穴を使用してください。

△注意 かならず肩ベルトを左右同じ高さ  
のベルト通し穴に通してください。

△注意 肩ベルトおよび、アジャストベルトは  
ねじれないように、肩ベルトハンガー  
に取り付けてください。

ゴム面が下

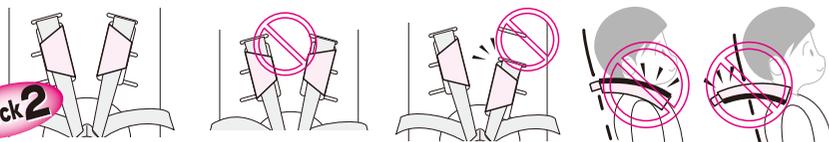
アドバイス  
丸でかこまれた角の部分  
から入れるとスムーズに  
通すことができます。



幼児専用肩パッドに肩ベルトを通します



Check 2

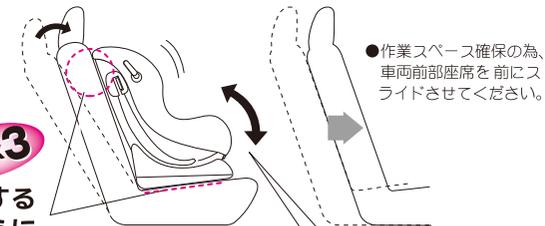


## 3 取付角度調節

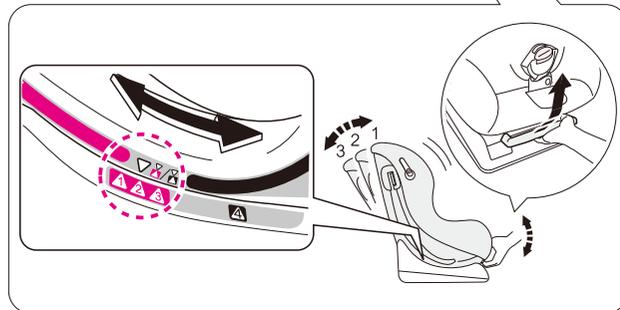
車両シートに前向きで置きます

Check 3

接する  
ように



車両座席の背もたれ角度に  
合わせてリクライニング調  
節します



アドバイス

●チャイルドシートと自動車の座席とのすき間によりカタツキが生じると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。左図のようにクッションなどいれてチャイルドシートを固定してください。



# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

お子さまの

体重：

10~18kg 以下



身長のためやす：

75~100cm まで

年齢のためやす：

12ヶ月頃~4才頃

## 前向き取付け

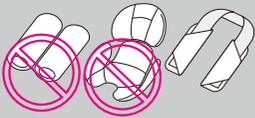


△警告

お子さまの体重が10kgを  
超えるまでは、前向きで  
使用しないでください。

Check

## 取付具

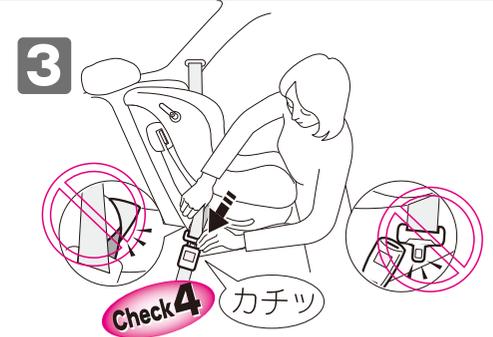
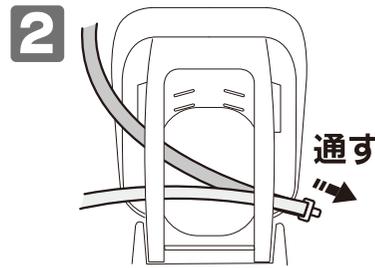
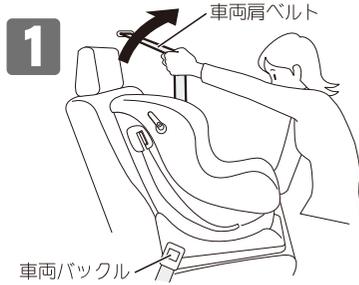


△警告

かならず幼児専用肩パッド  
を使用してください。

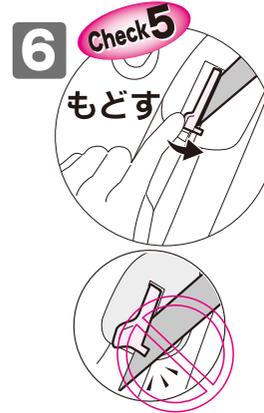
# 4

## 前向き 取付手順

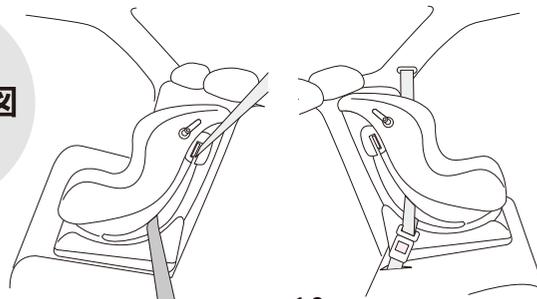


車両肩ベルトを、車両バックルと反対側の  
ロックオフレバー1か所に通す。

体重をかけながら



## 完成図



Check 1~6 は かならずおこなってください。

以上の項目をチェック後

●ぐらつきチェックで、ベース部を前後左右に  
ゆすり、約3cm以上ぐらつく場合はもう一度  
取付手順の 1~7 の順序で、取り付けを  
やり直してください。